

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型事業所ぼとす		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月20 日		～ 令和8年2月2 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10 (回答者数)	8
○従業者評価実施期間	令和8年1 月20日		～ 令和8年2 月 2日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月12 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・多機能型事業所である為、児童発達～放課後等デイサービスまで一貫して支援期間を設けることができる。そのため、就学後も見据えた支援をすることができている。	・年齢に合わせた発達段階をしっかりと把握し、年齢に応じた支援をそれぞれに提供している。同時間帯に異年齢の児童がいる際にも、必要に応じ個別的にサポートをしている。	・毎日のカンファレンスや定期的な会議で職員間での知識に差が出ないように、事業所内研修を用いて一貫性のある支援に結び付けていく。
2	・支援時間が1時間と短いことで、児童の集中力が持続した状態での支援を行うことが出来る。	・支援内容が固定化しないように留意している。 また、季節の行事も積極的に取り入れ、行事への関心や楽しみを持って活動に取り組むことができるよう支援している。	・左記
3	・職員の職種が多岐にわたる為、それぞれの視点から支援内容を検討することができる。	・毎朝のカンファレンスだけではなく、午後支援の前にも支援員が集まり、支援内容について話し合う事ができている。 ・支援内容のねらいなどもしっかりと持つことができるよう、それぞれが指摘し合い、支援内容の充実を図ることができている。	・左記のように支援員間でのこまめなコミュニケーション・発言しやすい職場環境作りを行っている。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・幼稚園・保育園行事による関係で低年齢の子供が午後になることもあり、同時間の支援に年齢の幅が広がってしまう。	・集団生活の場として、幼稚園・保育園での生活をとらえており、小集団での活動を並行して必要なことである為、調整はしていくべきと考えている。 ・午後の活動時の本児の様子を保護者と共有し、調整を行っている。	・一つの支援の中で、子どもの年齢や理解度に合わせ、どこまでを自分でするかを変えたりするなど、個別にサポートしていく必要がある。そのため、状況に応じ支援員を多めに配置するなどの配慮をしていく。
2	・多職種の前職経験者も多く、発達支援に関する知識に幅が出てしまう。	右記に示す通り	・事業所外研修への参加を促し、事業所内へのフィードバックを行う。 ・カンファレンスや会議を利用し、知識の共有を行っていくことで、一貫性のある支援を行っていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 多機能型事業所ぼとす

公表日 令和8年2月27日

利用児童数 10

回収数 8

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8				支援をしている部屋も広く、開放的だと感じる。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7			1	先生たちの数も多いと感じる。面談の時に、フリーで動ける先生もいると説明を受けた。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8				段差もなく、つまずく心配もないと思った。トイレも分かりやすくイラストが貼ってあった。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8				掃除は行き届いていると思う。清潔感を感じている。	
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8				子どもの性格を理解して活動中の配慮もしてくれていると思う。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8				個別支援計画は分かりやすく説明してくれていると感じる。自分たちが課題として思っていることを丁寧に聞き取りしてくれていると思う。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8				色々な活動を取り入れてくれていると思う。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。				8	公園で他の子どもと遊んだと聞いたことはあるが、一緒に活動したかまでは分からない。	・連絡帳への記載をもう少し詳しく記載するなどの配慮を行います。
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		1	3	4	参加したことが無い為、分からない。研修会の案内が来たことはない。	・個々の面談時には情報提供を行っていましたが、今後、定期的な保護者会の中で情報提供行っていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	8					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8				面談は定期的にしてきている。困りごとを相談すると、すぐに面談ができるように配慮してくれている。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		1	3	4	参加したことがないので分からない。	・個人情報保護の観点から行っていませんでしたが、今後、定期的な保護者会開催を計画中。
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8				相談事があれば聞きやすい環境だと思う。		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8				お便りやInstagramなどで子どもの様子を知ることができている。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7			1	・契約時に説明しているが、分かりやすく周知できる説明を行って行く。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7			1	定期的に避難訓練があるようで、「今日は〇〇だった。」「逃げる時は～」などの話をしてくれる。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3			5	怪我をしたことがないのでわかりません。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8				「ぼとずに行きたい。」とよく言っている。
	29	事業所の支援に満足していますか。	8				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		多機能型事業所ぽとす					公表日	令和8 年 2 月 27 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		こどもの人数や特性に配慮し、スペース確保を行っている。				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		適宜必要人数の配置を行い、フリーの職員も配置している。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		イラストなどを利用し、分かりやすくしている。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		落ち着いて活動する空間、身体を動かす空間を分けるなどの配慮をしている。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		パーティションを使用し、半個室となるような空間を作っている。				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		毎朝のカンファレンス・定期的な会議・モニタリング後の事業所内会議を利用し、職員全体での話し合いを行っている。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		6に記載。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		6に記載。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		施設外研修への参加が全職員できるように配置を調整したり、研修参加した職員が施設内での研修などを行っている。				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>						
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		定期的なモニタリングの実施・家族支援の実施などによりニーズを理解し分析を行った上で作成している。				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		6に記載。				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		6に記載。				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		ツールの見直しも行いながらアセスメントに用いている。				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>						
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		6に記載。				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		それぞれの職員の目線から支援を検討し、意見を出し合う事で固定化しないよう努めている。				

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		12に記載。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝のカンファレンスや、お昼の支援前には必ず話し合いを行い、スムーズな支援ができるようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後には必ず振り返りを行う事で、良かった点・改善が必要な点などの共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援記録は毎日実施の上、書き方などについても指導を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		12に記載。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		支援の中でよく関わりを持っている支援員が中心となり参加をしている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		関係機関連携の機会を適宜設けている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		25に記載。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		25に記載。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		適宜、電話での相談や定期的な会議に参加している。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		地域の公園などで交流を持っている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		現在は開催無し。今後、定期的に保護者会を行えるよう調整中。	左記。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		通所契約時に説明を具体的に説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○				
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		事業所内面談や居宅訪問を行い、相談に対する助言を行っている。		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	34に記載。	左記。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	送迎時や、保護者からの相談連絡があった際には、迅速に対応できるよう整備している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○	毎月通信の発行。インスタへの投稿・HPへの掲載も行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	生活カードや気持ちカードを使用し、意思の疎通やヘルプサインの表出ができるよう配慮している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	ハロウィンバザーを開催するなど、地域に開かれたイベントを開催している。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	職員対象として行う避難訓練や、児童と一緒に避難訓練など、様々な状況を想定した避難訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○	定期服薬をしている児童においては、薬情を提出していただき、内服による効果・副作用までを職員が把握できるようにしている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	契約時の聞き取りにて対象となる児童がいた場合には、対応を行う事ができている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	速やかに報告書を作成し、カンファレンスを開催している。カンファレンスでは、再発防止に必要な対策が全体としてできるようにしている。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	職員が参加できるよう、配置調整を行っている。研修参加職員からの事業所内研修も行っている。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○	契約時の説明時や、個別支援計画説明時において施設設備（仕切り・児童の手が届かないドアスイッチなど）が安全を守るための身体拘束であることを具体的に説明している。		